EREVNA/DEC/98レッスン：6"A"

テーマ：探し求めること

SEEK6A/EN.DOC/AEN

兄弟姉妹の皆さん、

聖霊、光、火の子供達。私達は常に神、絶対、聖なる存在に包まれています。

　　前のレッスンでは生物、特に人間の成長は、私達がエーテル・バイタリティー（エーテル活力）と呼ぶ神秘的物質を通じて全ての細胞の中心において生じていると話しました。

妊娠の時から死まで、あらゆる有機体における成長・維持・交換作用は数学的正確さでもって行なわれています。この成長プロセスについて深く考える時、私達自身の力では恐らくこのような成長を達成することは不可能であり、物質としての全ての細胞の中心から何らかの他のパワーが働いているに違いないと考えざるを得ません。

　私達はあらゆる有機体に惜しげなく与えられている恩恵について考えてみるべきではないでしょうか？この場合、単に人間だけでなく、動物界、植物界そしてあらゆる形態の生命現象も含まれます。例えば、30分間自分の身体を完全に自分の力だけで支えなければならないと想像してみてください。するべき膨大な仕事量があります。例えば、血液を含む体液の循環、呼吸、免疫システム、身体組織の構築と維持その他。もし私達が自分の力だけでこれら全てを行わねばならないとしたら、人類はたちまち絶滅してしまうことに異論はないと思います。

創造界にくまなく注がれている神の愛(All-Love）について考えてください。それによってあらゆるものは存在し、維持され、必要に応じて修復され、再生されています。

　創造界に存在するものは全て目的を達成するために、愛(Love)と英知(Wisdom)によって構築されています。全ては聖なる仕事を達成するために創造されています。その結果、全ては自己充足的な機械として設計されています。しかし同時に、思考方法・行動方法としてのサブスタンス（本質、実質）は変化できるようになっていなければなりません。それは設計の目的およびサブスタンスの源についての認識をもたらすためです。

　人体は人間に与えられた最も神聖な贈物です。それは神の恩寵(His Grace)として人間に与えられたものです。ここで体と言う場合、単に普段認識していて触れることのできる粗雑なレベルの肉体だけを指しているのではありません。他の二つの体、つまりサイキカル体とノエティカル体をも意味しています。サイキカル体は私達の感情、情緒を表現しており、ノエティカル体は私達の思考、想念を表現しています。そして三つの身体はひとつになっています。

真理の探究者は最初のうちはサイキカルおよびノエティカル体を理論的に学びますが、次第に体験を通じてこれらの体を知るようになるでしょう。

この知識が増すにつれて、探究者は神の調和(Divine Harmony)と神の絶対英知(Divine All-Wisdom)に即して、これらの体を意識的に使用するようになります。

人間がこのことを理解していないと、人間は濫用して神の調和の法則を乱すようになり、その結果肉体に病気や痛みが生じます。三つの体が健康を取り戻すためには、聖なるバランスの法則が適切な均衡を取り戻さねばなりません。

**痛みはサイキカル体とノエティカル体にも現れます。これらふたつの体に現れる病気は一般に、肉体に現れる病気よりもずっと深刻です。**

一般の人はある意味で、肉体的痛みの方がより簡単に対処することができます。病気が肉体的に表出しているので、心身症的に表出している病気よりも容易に治療し、手当てをすることができます。心身症的病気は一般の人間にはあまり馴染みがなく、馴染みがないと一般に恐怖感を抱きます。ほとんどの病気は大体、程度の差はあれバランスの法則の乱れによるものです。従って、自分自身の病気に対して他の人間を責めることはできません。

健康の有り難みは病気になってはじめて実感できると言われますが、身体が健康で良く機能している時には三つの体を構築・維持している超知性(Super-Intelligence)に感謝することを忘れがちです。

　同様に、私達は毎日の生活において、想念あるいは感情の世界としてのスーパーサブスタンス・マインド(Supersubstance Mind、超物質であるマインド）を濫用していることをどれほどしばしば後悔しているでしょうか？感情や想念が大いに混乱をもたらしていることを考えてみたことがあるでしょうか？災害や不運な出来事が生じた時の感情・情緒の動揺、また他人の無理解、思いやりの欠如、怠慢などの結果生じる不安、怒りなどの些細な心の乱れによっても同じような結果がもたらされます。原因、結果は何であれ、究極的には、コントロールを失った感情の表出は当座の問題には何の助けにもなりません。

　もし私達が周囲の人々に愛、忍耐、理解をもって対すれば、肉体的または心身症的症状を引き起こすこともなく、もっと落ち着いて穏やかでいられると考えたことはありませんか？

私達は報酬を期待したり、利用したり、お返しをするという重荷を相手に負わせることなく自由に、周囲の人々全てに愛、忍耐、理解を無料で与えることができるのです。

創造の問題について論理的に考えてみれば、何らかの形で全てが私達に与えられ、提供されていることがわかるでしょう。

　そのような贈り物は、食物やその中に含まれているミネラルやビタミンとして現れている太陽のエネルギー、そしてパワーという形であらゆる所に溢れているエネルギーの中に見いだすことができます。しかし、私達は資源、環境を濫用し、また間違った食生活を通じて、さらに怒り・憎しみ・嫉妬・暴力などの表現の質を通じて自分自身の三つの体を濫用しています。

三つの体は互いに結びついており、私達がそれに気づいていようといまいと相互に影響を及ぼしています。

三つの体は全て調和的に機能しなければなりません。ひとつの体に生じた乱れは他のふたつの体にも影響するからです。肉体に影響が及ぼされ肉体的病気となって現れたり、もっと悪い場合は心身症的病気となって現れます。

　病気がこのようにサイキカルおよびノエティカル体に関連しているという事実は一般の人には知られていません。普通、病気は他の体とは関係していないと見られており、おそらくそのために病気の回復には長い時間がかかるのかもしれません。

　病気の治療においてホリスティック医学（＊部分のみを見るのではなく、全体的視点から見る医学）が認められつつあります。これは部分的治療ではなく全体を癒す必要性を認識するもので、人間の複雑な形態の統合性を受け入れることになります。

**人間は私達のために創造された世界に住んでおり、神の恩恵によって三つの体の中に住んでいるのです。**

人間の本来の特質を発見するプロセスに着手するために、少しずつ自分自身のインナーセルフ（＊本来の内なる自己）を探していきます。

このインナーセルフは聖なるモナドの霊的存在（Holy Monad Spirit Being）の精密な投影であり、質的に絶対存在の本質と特質を有しています。「私達は全員神の子である」と言います。それは海と一滴の水の関係に比べることができます。一滴の水は質的には海全体の水と同であり、量的に異なるだけです。水滴が沢山集まれば海となります。

　真理の探究者は必要なものを家族に提供し、属している社会に参加するために働かねばなりません。大部分の人間にとって物質と社会的地位は何らかのパワーを意味しています。このパワーは非常に注意して使用する必要があります。人間の目的はそれがどれほど小さくても、神の計画に貢献して参加することであることを忘れてはなりません。

人間は物質の魅力によって押し流されたり、他人によって与えられた偉大さやパワーという幻影に足元をさらわれないように細心の注意をする必要があります。これらの幻影はリアリティーへの偽りの感覚として物質化し、本人はそれを自分の本当のセルフであると信じるようになります。次第に、エゴに賛成しないものが反乱をおこすようになります。エゴはエゴ自体を抹殺するようなものを全て嫌います。しばらくは様子を見ていますが、本当に身が危ういと感じると激しく反応します。激怒、憎悪、攻撃性、狭量、卑劣などを創造し始め、通常は結果としてそれぞれの体に様々な病気の症状が出ます。

　種を蒔く人の喩えを考えてください。肥沃な土地に蒔かれた種は雑草と一緒に育ちます。作物だけが育つのではなく、肥沃な土地では雑草も良く育ちます。これらの雑草は作物が育つ空間を確保するために取り除く必要があります。人間である私達は、快適な環境を創造するために何でも自由に利用しています。人間は五感をもっており、それらの五感はサイキカルおよびノエティカル体の五つの超感覚ほど完全ではありませんが、それでも物質世界で生きる上では優れています。

人間は創造界にあるもの全てを利用することができますが、それを楽しみ、最大限にそれを利用するために自由意志を用いる必要があります。友達、家族、環境を楽しみ、また他人の立場に身を置いて他人が必要とするものにも配慮しなければなりません。

私達がどのような環境に置かれていようともそれは私達が作ったものであり、それに不満足であれば誰も私達に代わってやってくれないので、私達自身で変えようと試みなければなりません。

　スタート地点は今自分がいる所です。道義に基づいて生き、自分のエゴや間違いを減らすことから始め、自分のいる小さな場所を越えたところにも興味を持つようにします。このようなタイプの変化はまず私達の内側で起こり始めなければなりません。その結果、変化が現実のものとなります。罰を与える神などは存在しません。絶対(Absolute)は絶対善(All-Goodness)であり、天国を作るのも地獄を作るのも私達以外にはいないことを理解しなければなりません。物質・サイキカル・ノエティカルの各レベルの法則を乱すと、苦痛という結果が生じ、最終的に各レベルの法則のバランスを取り戻すことになります。

　さて、真理の探究者としての私達の目的は何でしょうか？誰でも良きキリスト教徒、良き仏教徒、その他何であれ属している宗教の良き模範となることを好みますが、しかし単に良く振る舞うだけで十分でしょうか？「真理を知りなさい。そうすれば真理はそなたは解放するであろう・・・」それでは真理は私達を何から解放するのでしょうか？勿論それは、あなたを真理に関する無知から解放するのです。

　創造界の中に存在する私達は何なのでしょうか？私達はどのようにして真理に近づくのでしょうか？魂のセルフ・エピグノーシス(Soul Self-Epignosis)としての私達は何なのでしょうか？神とは誰なのでしょうか？この瞬間における絶対存在との関係とはどういうものなのでしょうか？先に進むために私達は何をするのでしょうか？大部分の人は神に恐れを感じていますが、なぜでしょう？生命という現象を通じて私達に愛のみを表現している神をなぜ恐れるのでしょうか？

むしろ反対に、私達は神に対して十分な愛を示していないことを恐れるべきではないでしょうか？“神に対して”と言う場合、同胞としての人間に対してという意味も含まれるべきです！

あなた方は何かを本当に良く理解すると、それを愛するようになります。何かを恐れるのは、十分に時間を費やしてそれを理解していないからです。神を恐れるのは、法則・超知性・輝きとしてのそれを十分に理解していないからです。神の輝きのひとつの光線は私達自身の意識なのです。

　探求、勉強、自己反省、自己分析、神の贈物である思考の正しい使用が求められます。思考はノエティカルな超物質（スーパーサブスタンス）であり、それによって人間は想念欲望型のノエティカルな偶像を生みだすことができます。

**三つの体に働きかけるに当たって、まずしなければならない最も重要なことは、現在のパーソナリティーとインナーセルフの違いを認識することです。**

真理を知ることによって自己尊厳（self-dignity)が現れてきて、それがエゴと置き換わるようになります。この自己尊厳は真理の知識から発し、同時にそれを通じて私達は自分の根本的な問題を見いだし、認識するようになります。

問題は、その答えがどこから来るか、ということです。答えはインナーセルフから、内なる天の王国から来るでしょう。セルフから答えが来ると言いますが、このセルフとはどのセルフでしょうか？

私達が自分の本当のセルフであると考えがちな現在のパーソナリティーのセルフ・エピグノーシス(self-epignosis)から来るのでしょうか、それともエゴと置き換えるために探し求めねばならないもうひとつのセルフから来るのでしょうか？

　世界のあらゆる宗教は魂について触れているようです。私たちに魂があるのでしょうか？一般に、私達は魂の影を本当のセルフと理解しています。本当のことを言えば、この影は毎日変化しています。大ざっぱに言って、私達が有している本当の魂は三つの体にあります。死という現象によって、現在のパーソナリティーの粗雑な肉体は消滅します。粗雑な肉体から解放された後も私達は、サイキカルおよびノエティカル体と共に引き続き現在のパーソナリティーとして存続します。

しかし、この現在のパーソナリティーを越えた所に魂のセルフ・エピグノーシス(Soul Self-Epignosis)、つまりイエス・キリストの言う“貴重な真珠”があります。私達がこの真珠を発見する時、私達は全てを発見することになります。真理の探究者である私達はこれを探さねばなりません。

聖書の中には多くの喩え、多くの真理が語られていますが、それらの意味の深さは私達の理解のレベルに応じて異なってきます。私達の理解のレベルは継続的に変化していくので、そのために真理の探求にも終わりがないのです。

宗教的ドグマに縛られずに勉強しなければなりません。それによって、正しい思考の適用により、古代哲学に示された本当の真理が、経験に基づいた現在の神秘家の知識と共に生きるようになるのです。真面目な探究者は、神秘家の経験に基づく知識が、疑いの影もなく明らかに、神のリアリティーの相対的真理を示しているかどうかに深い注意を払う必要があります。経験に基づいた神秘的知識が表現される場合、それは特定の民族的または地域的意識レベルに関連する表現のみならず、地球全体の意識レベルに関連する表現でもあることを憶えておいてください。さらに、パワーは非正統的方法によっても獲得することができますが、それらは神のリアリティーについては無知であることを憶えておいてください。良く勉強し、このレッスンに含まれている質問について真剣に熟考してください。あなたの内側から、そしてあなたの周囲から答えを探し求めてください。

私達は常に神、絶対、神の聖性に包まれています。

EREVNA/SEEKING6A/EN/DOC 6A/4END